

ありが隊新聞

天龍村地域おこし協力隊は「あっぱれ！天龍村の方にいつも協力して頂き有り難い」と2014年より「あっぱれ！天龍村ありが隊」となっています。



令和7年1月
第141号
編集：於保樹

於保樹の活動報告

地域交流

1月3日にお潔め祭り例祭が行われました。地区の方々や、毎年遠方から舞を舞うために足を運んでいただいている方々のおかげで、無事に終わることができました。ありがとうございました！

自分は舞堂にいたからかあまり感じる事ができなかったのですが、例年以上に見に来てくださった方が多かったです！嬉しい話ですね。1人でも多くの方に、舞を通して向方地区を気に入ってもらいたいです。

去年は扇の四つ舞を舞いましたが、今年は扇の四つ舞に加えて、扇の三つ舞、やちこの四つ舞・三つ舞も舞わせていただきました！うる覚えのまま勢いに任せました。全力を尽くしましたが、しかし、見返すと恥ずかしくなります。足の運び、体の使い方、姿勢など多くのことを意識して練習していきます。地区の方々認められるような舞をできるように精一杯努力していきます！



お潔め祭り例祭の様子

林業

12月～1月にかけて、小型移動式クレーンの資格取得・原木切りを行いました。小型移動式クレーンの資格取得はしたものの、都合が合わず玉掛けの資格を取ることができていないため、早急に取り練習して仕事で使えるようになりたいです！

原木切りについては、主に長さ1m、太さ8～13cmの原木を採っています。作業はチェーンソーで伐倒することから始まり、重機を用いて搬出、原木や用材を採るための玉切り、片付けまで一通り行います。

伐倒するときには、安全・裂けないようにすること、もちろんのこと、伐倒方向や順番、搬出しやすさなど考える必要があります。

玉切りについて、特に難しいと感じたことは原木の太さの判断と重機操縦者との連携です。原木の太さは8cm～13cmで、この範囲から外れると規格外になってしまいます。しかし、太さの感覚がまだ、全くわからないため、苦労して玉切りしても無駄になることが多々ありました。

重機操縦者との連携は、効率的な作業をするための順番や操縦者に何を求められているかなど常に考える必要があります。初めての作業で体力的・精神的にもかなり疲れるので怪我しないよう休養を取りつつ頑張りたいですね。



原木切り

●循環型農業

年末からでいざなすの種まきが始まり発芽しています。今年もわくわくしながら栽培を楽しみたいと思います。もうすぐ穂木の種まき開始です。一方、畑は昨年の木の片付けをしなが準備に入っています。三か月前から飼



い始めたにわとり達の敷わら（もみがらと鶏糞混）を畑へ積んでいきます。敷きわらは寝床のものは毎日、日中過ごしているスペースのわらは三日に一回



いる土や肥料は輸入による資材がほとんどです。なるべく、地域のなかで手に入れられるものを使い、地域（あるいは国内）でつないできた種の作物を作り食すことが元気に過ごす一番の源と考え、そう考える人の多く住む天龍村になれば、食の「地域内自給」も夢じゃない！と。ひと昔前は当たり前だったのですよね。実践あるのみ。



●一味唐辛子販売

これまでイベントを中心に販売してきた十久保南蛮一味唐辛子ですが、いよいよ村内で常設販売していただけることになりました。お待ちせいたしました。十久保南蛮生産者組合員が無農薬で栽培した南蛮を、阿智の加工施設で温風乾燥し、天龍で粉碎加工しています。生産者のみなさん、他商品化までにご協力いただきました関係者の皆様、ありがとうございます。フレッシュな辛味と旨味は他にない味。血行が良くなるようで調子がいいです、とのお客様のお声もいただきました。二月中は特別価格にて販売いたします。冬のお料理に、うどんや丼ものも合いますよ。ぜひ一度ご賞味いただけましたら幸いです。



おきよめの湯売店
満島屋にて販売
手ぬぐいもあるよ

1/15長野県庁で協力隊マルシェにてPR活動
南信州伝統野菜のお弁当と十久保南蛮の商品販売



加藤まゆみ

◇おきよめの神の物語PR活動
十二月二十二日（日）滋賀県彦根市のみずほ文化ホールにて、七月になんでも館で開催した公演を行いました。年の瀬で寒い日でしたが130名ほどの方が足を運んでくださいました。関西圏でのPR活動はなかなかないので天龍村のことを知っていただくいい機会を頂きました。年明けの「天龍村の霜月神楽」にも興味を持っていただいたり、特産品の物販も珍しいと言っ手に取ってくださる方が多かったです。



◇霜月神楽

今年も3カ所お邪魔して微力ながらお手伝いさせていただきました。それぞれのお祭りに村の方々もいろんな役割で携わって、村の子供たちも毎年恒例行事として参加する姿がとてもいい風景だなあとしみじみ感じました。3カ所ともうどんとおでんの売店があり、それぞれとても美味しく体も心も温まります。この味を求めに祭りに行くのもあります。



◇食

一月十五日に長野県庁で行われた「協力隊マルシェ」に南信州まるごと弁当を望月隊員が持って行ってくださいました。北部で南信州伝統野菜を食して知っていただける機会が珍しいので良かったです。今回のお品書きをありがとうございます。隊OGの内藤有香さんにお願いで描いていただきました。このお弁当は二月の八・九日に飯田で行われる「南信州うまいもん会議」にも出店予定です。また村の方々にも味わっていただけようように計画いたします。

